～未来のために～ **いま**

明石市立二見中学校
第２学年(72回生)学年通信
平成30(2018)年 12月10日
第１３８号

２０１９年度の新しい生徒会総務が決まりました。



会長	副会長	副会長	書記	書記	書記	書記	書記	書記
２年６組	２年６組	２年１組	２年５組	２年６組	２年６組	２年１組	２年１組	２年４組

この後会計２名が決まれば、いよいよ３年生からバトンタッチ。７２回生青学年の新生徒会が始まります。人として、頑張ろうとしている人を応援できる人、みんなで取り組もうと考えたことに、進んで協力できる人でありたいものです。

さて、今週末は神戸班別行動です。２学期最後の行事を有意義なものにするためにも、少し自分自身を振り返ってみましょう。普段の生活での課題、改善できることはありませんか。今すべきこと、やらなければならないことから逃げていませんか。授業や日常活動１つ１つにしっかり取り組めていますか。今日からできることは意識して改善してみましょう。

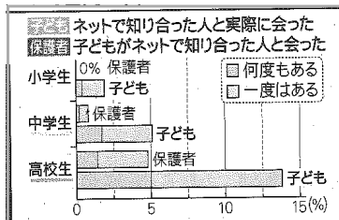
ネット依存うちの子に限って

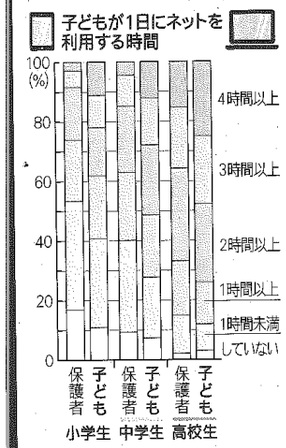
親の把握は4%台

県7300人調査

1日の利用4時間 中学生12%

他人と出会い経験 高校生14%





兵庫県による子どものインターネット利用に関する調査で、小学生の11.2%、中学生の12.2%が１日４時間以上利用していたにもかかわらず、わが子が４時間以上利用していると答えた保護者はそれぞれ2.9%、4.5%と大きくかけ離れていることが分かった。高校生のうち13.8%が「ネットで知り合った人と会ったことがある」と答えたが、把握している保護者は4.8%だったことも判明。県は「子どものネット利用の実態をもっと知ってほしい」と警鐘を鳴らす。

（28面に関連記事）

２０１５年度から毎年、県内の小学５年～高校３年を対象に実施。今年は保護者も含め計７３１０人から回答を得た。

１日のネット利用時間では、「３時間以上」「４時間以上」が小学生22%、中学生27・9%、高校生47・7%。これに対し保護者は小学生8・4%、中学生14・9%、高校生35・8%で、特に小中学生の保護者の認識と子どもの実態に大きな差があった。

「ネットで知り合った人と実際に会ったことがある」では、小学生で約2%いたにもかかわらず、わが子がネットで知り合った人と会ったと認識していた保護者はゼロ。中学生でも約5%いたが、把握していた保護者は０・８%だった。

また、携帯電話やスマートフォンの使い方について保護者とルールを決めているかについても尋ねたところ、高校生で「ルールがある」と答えたのは37・4%にすぎなかったのに、保護者は60・1%と、保護者だけが「ルールがある」と思い込んでいる実態が浮き彫りになった。

このほか「ネット上でけんかやトラブルになったことがある」でも、小学生9・6%（保護者4%）、中学生14・4%（同7%）、高校生17・2%（同8・4%）と2倍以上の開きがあり、子どもの多くがトラブルを保護者に相談していない状況もうかがえた。

今回の調査を踏まえ、県は「ネット利用には危険も伴う。まず親子でしっかりコミュニケーションを取り、子どもがどのようにネットを利用しているかを知る努力をしてほしい。その上でルールも成長に応じて見直して」と呼び掛けている。

（前川茂之）

（神戸新聞１２月７日版より）

＜ 保護者の皆さまへ＞

いよいよ２年生の校外学習（神戸班別行動学習）が今週末の１４日（金）になりました。生徒用の校外学習のしおりも完成しております。お忙しいとは思いますが、当日までにご覧いただきますよう、またお子さまが常備薬を持って行く場合は、冊子の覚え書きにあります常備薬の欄に記入していただきますようお願いします。

朝の集合は、班ごとに８時２５分から８時５５分の間に東二見駅に、解散は班ごとに１５時から１５時３０分の間で明石駅で、となっております。

なお、当日の欠席連絡は朝７：００～７：３０までに
校外学習用本部携帯　**０８０－６２０６－９０７１**　までお願いします。